

敷地境界における追加的実効線量 (評価値) の制限達成について

2015年4月30日
東京電力株式会社



東京電力

平成27年3月末における敷地境界実効線量 (評価値)

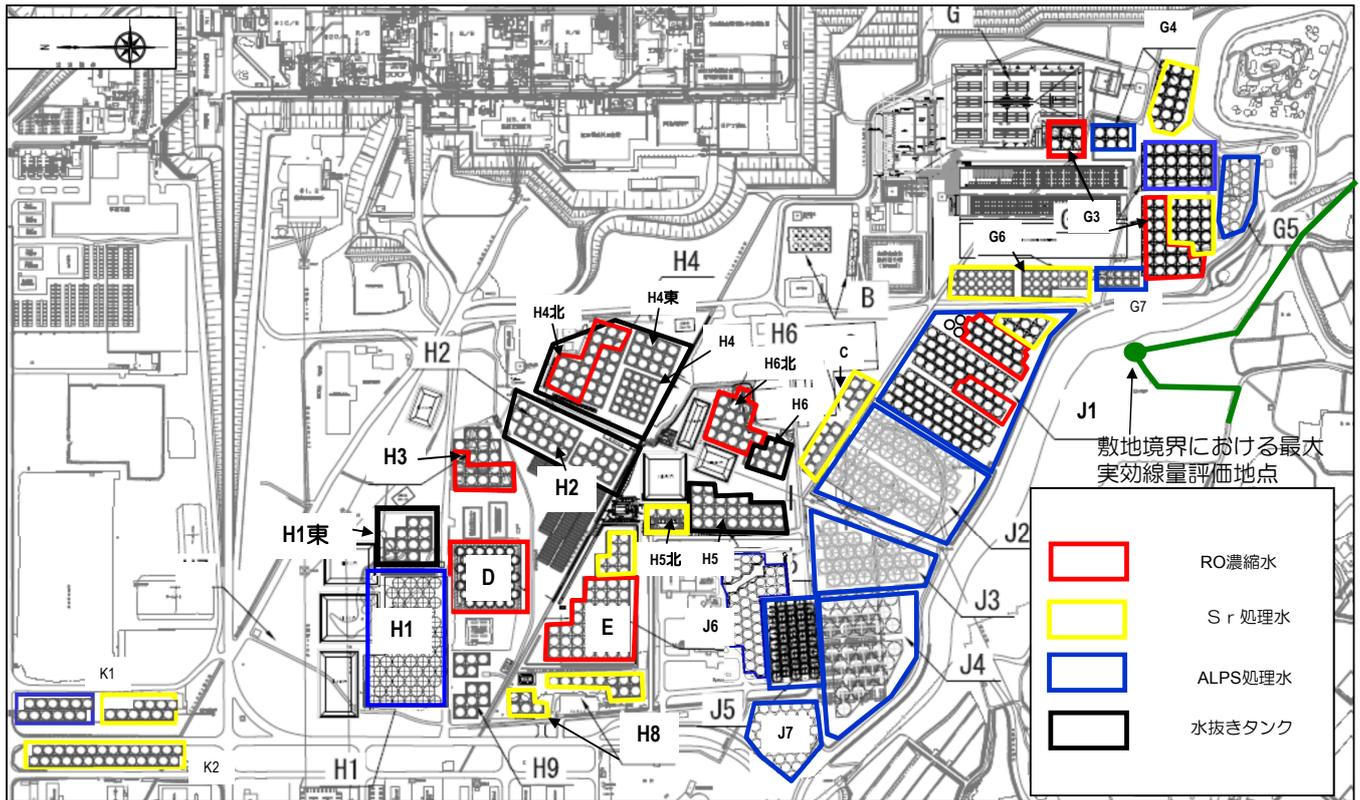
- ✓ 平成27年3月末における気体廃棄物、固体廃棄物及び設備（直接線・スカイシャイン線）、構内散水、液体廃棄物等に起因する敷地境界の追加的実効線量は合わせて約0.89mSv/年、RO濃縮水貯槽に起因する敷地境界の追加的実効線量は約0.9mSv/年^{*}と評価。
- ✓ このため、平成27年3月末における敷地境界の追加的実効線量は合計約1.79mSv/年であり、**制限値2mSv/年を達成**と評価。
- ✓ 平成27年3月31日に福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画」の変更認可申請を提出。

		評価値 (平成27年3月31日申請)
RO 濃縮水貯槽以外	気体廃棄物	約0.03mSv/年
	固体廃棄物及び設備 (直接線・スカイシャイン線)	約0.56mSv/年
	構内散水	約0.075mSv/年
	液体廃棄物等	約0.22mSv/年
	小計	約0.89mSv/年
RO濃縮水貯槽		約0.9mSv/年 [*]
合計		約1.79mSv/年

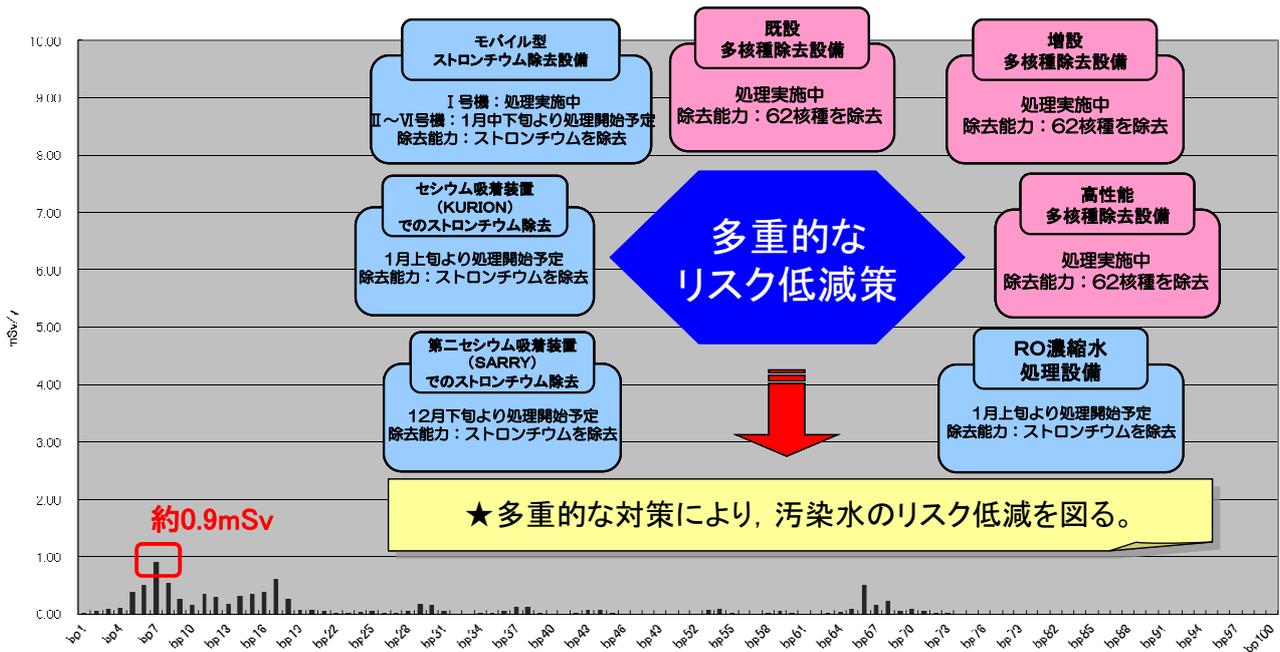
^{*}簡易評価値

(注) 四捨五入した数値を記載しているため、合算値が合計と合わない場合がある。

【参考】 評価に用いたタンクエリアの配置図



【参考】 平成27年3月末におけるRO濃縮水貯槽に起因する実効線量（評価値）



多重的なリスク低減策を実施したことにより、RO濃縮水貯槽に起因する実効線量は約0.9mSv/年※と評価。

※簡易評価値